

NO. 107

泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社
0724(83)4653

交通事故防止について

会長 遠健三

この頃思うこと、走るのほろい、私の知人で二人ランニング中、交通事故で死亡しております。事故の原因は二人とも相手の信号無視、走る人、車も信号無視です。

この人達は私と同様仕事であり、私よりよきライバルでした。なぜこのようになったかと申しますと、この方達はランニングには相当なギヤリアがあり、より速く、より遠くと思ひ、早朝マラソンを毎日行つておりました。大阪府と西宮市の人ですが、それで市街地を走っていたそうです。どうも朝は車の信号無視が多い、走る人も車が通らない、信号が赤、赤が止れば走りだす、公が狂うとも思ふのか一気に交差点を突っ込んで走る、そうして不幸な事となりました。

私が走り始めた、その当時は新築でも地道あり、砂利道あり、そして車の往来も少なかった。と言う事は人口も少なくて、それでうんぴり、新築敷より庭の谷、また信達へと走つておりました。この頃は、この頃は、どう

ですか、朝となく、夜となく車の走行がはげしい。それで歩道を走れば、歩道まで草が生茂り、草が歩道を覆いかぶさっております。そして歩道に車あり、自転車あり、店の看板あり、ゴミの収集日でもないのに、ゴミの袋が山とあり、おまけに空缶とくる。とてもではないが、あちあちと走つてはいけません。

何故この頃恐さを感じながら走らなければならず、泉南走ろう会もそうであるように十年近く走っていると、會員のほとんどがエマソン完走者であり、毎日ランニングしてあります。ニキロか三キロ走っております。今日、今日のジョギング、ランニングには通用になり、より速くより遠く走るとなると、少なくとも五キロ以上走るとなり、それなれば何処にそのような安心して走るコースがあるのか、ありません。それで毎日危険を感じながら走るが現状です。やや安心して走るコースとすれば、それは新築ミカン畑林道です。これを走るには余程トレーニングをしていないと駄目です。アッパ、カワンがあり、下手すると、体をこわしてしまいます。安心して走るコースがないとすればランナーの皆様より交通事故に二層の注意してランニングに励んで下さい。

お知らせ

例休日 本七月二十二日

本八月十三日 午前九時

泉南市立体育館

コース 皆と相談して決める。

樽井海水浴場は如何か
砂場を走りたり泳いだり。

(七月二十五日以前中は遠所
要あり、例会欠席します)

一、その他

イ、七月二十二日夜、天袖祭イブニング参加の方は各自で直接会場へお願いいたします。受付あたりでお会いしましょう。御健斗を祈ります。とは言つてもイブニングです。
気楽に走りましょう。

ロ、神鍋高原マラソン参加申込来た方、宿泊一緒にします。走ろう会事務局泉南スポーツ社に電話して下さい。



「大人の勉強教室」

「いつもの或る男」は「彼奴だけには負けたくない」とライバルを定めて、自らを奮い立たせている。そして、相手を挑発しその気にさえさせている。だが、常勝とはいかず、しばしば相手に勝ちを譲ってきた。そのたびに、お菊山、高倉林道といった、ハイカーが歩いて登ってもきつい、長くて急な坂道、こともあろうに、走って登っている。そして、何やらぶつぶつ呟いている。何と言っているのだろう。そう、「捲土重來、捲土重來」と聞こえる。

彼はかつて一度だけこの言葉を機関誌で用いたことがある。その時にも古い言葉であるがゆえに、おおいに躊躇していたように私には読めた。

温故知新です。たまたま、この言葉の原典に遭遇したので、ここにもとの詩を紹介しします。作者は杜牧という人（あの有名な杜甫の子孫）で、この詩は旅先で項羽を偲んで詠まれたそうです。

題烏江亭

烏江亭に題す

勝敗兵家事不期

勝敗は兵家事期せず

包羞忍耻是男儿

羞を包み耻を忍ぶ是男兒

江东子弟多才俊

江东の子弟多し才俊

卷土重來未可知

卷土重來未知るべからず

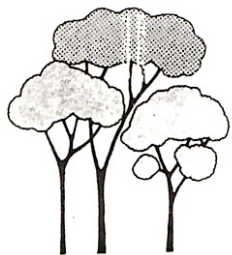
概訳 勝ち負けは兵家の常事で、やってみなければ分からない。男たるもの、たとえ負けたところで、恥辱をこらえて善後の策を立てるものである。（項羽は烏江の亭丁の「江東は小と雖も地方千里、衆数

十萬、亦王たるに足るなり」という再挙の進言を断わつて自刎したが）、江東にはもともと若い人材が多い。亭丁の進言を受け入れて、再挙を図つていれば、再び土を捲く勢いで出直していたかもしれないのに、思えば遺憾なことだなあ。

（いつものではない或る男）



ニユース



ゲテモノマランの頂点(富士登山競走)に眞鍋さん御夫妻そして遠、愈々参加いたします。(七月二十五日)
頂上コースの完走の確率10%
とのこと。五合目コースは500人中
100人は途中棄権とあります。
御期待。〇〇